



Japan Ice Hockey League North Division

《 開催要項 》

◎ 大会の趣旨

- ・ アイスホッケーの普及振興を図り、特に、子供たちに夢と楽しさを与えたい。
- ・ 働きながらアイスホッケーの魅力を最大限追求する。
- ・ 道内社会人チームの強化を図り、全日本選手権での勝利を目指す。
- ・ 従来の日本リーグに代わる新しい日本リーグの創造を目指す。

1 大会名 2012-13 Japan Ice Hockey League North Division

(日本語名称) 2012-13 日本アイスホッケーリーグ 北海道

(愛称) 2012-13 Jアイス・ノース

2 主催 (公財)日本アイスホッケー連盟

3 主管 (一財)北海道アイスホッケー連盟

4 競技主管 (一財)札幌アイスホッケー連盟・釧路アイスホッケー連盟・帯広アイスホッケー連盟
室蘭アイスホッケー連盟

5 後援(予定) 北海道新聞社・釧路新聞社・十勝毎日新聞社・(株)釧路厚生社・セトルブレイズ
タダノ・新日鐵室蘭・函館開陽亭

6 開催期間 平成24年9月29日(土)～平成25年2月24日(日)

7 参加資格

(1)平成24年度(公財)日本アイスホッケー連盟に登録されているチームの役員、選手とする。

(2)日本国籍を持たない者の参加は、1チーム3名までとする。(国際移籍手続きを完了している者に限る。)

(3)大会の趣旨にふさわしい、各地方連盟を代表する単独チーム又は選抜チームとする。参加地区推薦参加制限枠は次のとおりとする。

釧路(2)、札幌(1)、帯広(1)、室蘭(1)

8 競技方法

リーグ戦方式で行う。2回戦

9 競技規則

(1)IIHF国際競技規則に基づく。

(2)第3ピリオドが終了した時点で同点の場合、直ちに「4on4方式」による5分間のサドンビクトリー方式の延長ピリオドを行う。

(3)延長ピリオドで得点がなかった場合は、IIHF国際競技規則に準じゲームウイニングショットが適用される。

(4)試合でのサスペンションはゲームスーパーバイザー、レフェリースーパーバイザーで協議を行い、結果を両チーム代表者に告知すると同時に、状況と裁定を公益財団法人日本アイスホッケー連盟審議委員会に報告する。審議委員会は報告を受け、必要に応じ追加処分を下すことができる。

(5)サスペンションは必要に応じ、主催団体にかかわらず選手がプレーするリーグ、大会に反映し、次年度に持ち越すこともある。

10 役員・出場選手

- (1)1チームの登録選手数は15名以上36名以下とする。チームスタッフは1名以上6名までとする。
- (2)同一の地方連盟のチームより補強を認め、単独チームにおいての補強選手は、1試合5名までとする。補強選手については、試合開催日前日までに、(一財)北海道アイスホッケー連盟および対戦チームに氏名を報告すること。
- (3)チームのベンチ入り選手は22名以内(GK2名を含む)、役員は6名以内(最低1名)とする。
- (4)試合開始前に最低11名(GK1名を含む)役員1名がそろわないチームは棄権とする。
- (5)大会に参加する選手ならびにチームは、HPに①選手名②性別③生年月日④国籍⑤ポジション⑥出場試合数⑦得点⑧アシスト⑨ペナルティー⑩GK データー⑪試合映像(連盟で全試合撮影)等の個人選手情報が掲載されることを了承のうえ参加すること。
- (6)ホームチームは試合のビデオ撮影を行い、ビデオ撮影媒体を試合開催日の1週間以内に競技主管連盟を通し、(一財)北海道アイスホッケー連盟に提出する義務を負う。

11 順位の決定

- (1)順位の決定はIIHF国際競技規則に基づき、勝点制にて順位を決定する。
- (2)勝点が高点の場合IIHF「競技方式規則(Competition System)」に基づく。

勝者	3点
オーバータイム及びGWSの勝者	2点
オーバータイム及びGWSの敗者	1点
敗者	0点

12 開催費用負担

- (1)大会経費は、助成金と各チームが支払う参加費(負担金)で賄う。
- (2)大会経費の中で、移動費(バス代)及び宿泊費(選手22名役員3名分)を負担する。ただし、宿泊は釧路⇄札幌、釧路⇄室蘭のみとし、他の試合は日帰りとする。バス代についても、同様とする。
- (3)諸経費の支払いに関しては、(公財)日本アイスホッケー連盟と(一財)北海道アイスホッケー連盟及びホームチーム開催連盟が行い、NAASH「スポーツ振興事業助成の会計処理の手引き」に基づき、使用経費証明書など必要なすべての書類を(一財)北海道アイスホッケー連盟を通して、(公財)日本アイスホッケー連盟に提出する。

13 申し込み

- (1)参加申込用電子データーを(一財)北海道アイスホッケー連盟ホームページよりダウンロードし、必要事項を入力後、(一財)北海道アイスホッケー連盟((hihf@star.ocn.ne.jp))に電子メールにて送信する。
- (2)参加申込用データーに入力後、プリントアウトし、所属加盟団体を通じ、下記へ郵送すること。

【正】 主管 〒062-0905 北海道札幌市豊平区豊平5条11丁目1-1
北海道立総合体育センター内

(一財)北海道アイスホッケー連盟(TEL011-788-2811 FAX011-788-2812)

- (3)チームのホーム用およびビジター用ユニフォーム、選手およびスタッフの顔写真をCDまたはEメール添付にて(一財)北海道アイスホッケー連盟に送ること。なお、参加チームは必ずホーム用およびビジター用ユニフォーム2着を用意すること。また、顔写真は本人のみが写った無背景、無帽で正面を向いたもの。ファイル名は、各選手・スタッフの氏名にすること。

郵送先 〒062-0905 北海道札幌市豊平区豊平5条11丁目1-1
北海道立総合体育センター内

(一財)北海道アイスホッケー連盟(TEL011-788-2811 FAX011-788-2812)

Eメール送信先 hihf@star.ocn.ne.jp (一財)北海道アイスホッケー連盟事務局

14 参加料

(1)1チーム 300,000円として、申込みと同時に主管連盟の銀行口座に納金すること。

(2)振込先 北洋銀行 豊平支店

普通預金 口座番号 1341189

口座名 一般財団法人北海道アイスホッケー連盟 会長 片岡 勲

15 締切り 2012年(平成24年)8月27日(月)必着のこと。

16 大会日程

No	月 日(曜)	対戦カード	開催地	開始時刻
1	9月29日(土)	釧路厚生社-新日鐵室蘭	釧路	16:00 ~
2	9月29日(土)	セトル-札幌選抜	釧路	18:30 ~
3	9月30日(日)	セトル-新日鐵室蘭	釧路	11:00 ~
4	9月30日(日)	釧路厚生社-札幌選抜	釧路	13:30 ~
5	10月 7日(日)	セトル-タダノ	釧路	14:00 ~
6	10月28日(日)	札幌選抜-釧路厚生社	札幌	12:00 ~
7	11月 4日(日)	札幌選抜-セトル	札幌	12:00 ~
8	11月18日(日)	釧路厚生社-タダノ	釧路	14:00 ~
9	11月25日(日)	タダノ-新日鐵室蘭	帯広	14:00 ~
10	12月 9日(日)	釧路厚生社-セトル	釧路	14:00 ~
11	12月 9日(日)	タダノ-札幌選抜	帯広	14:00 ~
12	12月16日(日)	札幌選抜-新日鐵室蘭	札幌	14:00 ~
13	12月16日(日)	タダノ-セトル	帯広	14:00 ~
14	1月13日(日)	新日鐵室蘭-札幌選抜	室蘭	14:00 ~
15	1月19日(土)	新日鐵室蘭-セトル	室蘭	18:15 ~
16	1月20日(日)	タダノ-釧路厚生社	帯広	14:00 ~
17	1月27日(日)	札幌選抜-タダノ	札幌	14:00 ~
18	2月 9日(土)	新日鐵室蘭-釧路厚生社	室蘭	18:15 ~
19	2月24日(日)	セトル-釧路厚生社	釧路	14:00 ~
20	2月24日(日)	新日鐵室蘭-タダノ	室蘭	14:00 ~

17 プログラムの作成

今年度は釧路アイスホッケー連盟が請け負う。なお、写真・広告データ送付等、プログラム作成に係る諸連絡は、釧路アイスホッケー連盟が各チームおよび関係先へ行う。

18 追加選手の出場

追加選手の出場については、(一財)北海道アイスホッケー連盟が、地方連盟より当該チームの新規または移籍選手登録申請を受理した翌日から本大会への出場を認める。なお、申請を受理した旨を道連盟より本大会参加チームおよび主管連盟へEメールにて通知する。

19 表彰

(1)試合ごと優秀選手1名の表彰を行う。

(2)全試合終了後、得点王、ならびにアシスト王の表彰を行う。

(3)優勝決定が決まった時点で表彰を行う。

(4)本大会の優勝チームは、「2012-13 Japan Ice Hockey League Play-off」への出場権が与えられる。

20 ベンチ

(1)対戦表の左側チーム(ホーム)は本部席からベンチを見て左側のベンチに入る。

(2)ホームおよびビジターは、対戦表による。

21 公式練習

公式練習は行わない。

22 その他

(1)保険の加入

大会中における怪我については、一切責任を負わない。大会参加チームは保険に加入し、写しを(一財)北海道アイスホッケー連盟に郵送すること。追加選手の場合は、開催地連盟に提出すること。

(2)バス・宿泊の手配

バスの手配は、各チームの希望時刻・配車場所に基づき、全て近畿日本ツーリストが行う。また、宿泊の手配についても、近畿日本ツーリストが責任を持って行う。